

令和 2 年度予算について

【経営方針】

平成 28 年度に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度）に基づき、安全・安心で質の高いサービスを提供し、現行料金を維持するよう努めます。

また、令和 2 年度は、現中期経営計画の最終年度であり、重点施策の目標達成を目指し、各事業を着実に実施します。

■重点的に取り組むもの

- 災害等の危機管理対策
- 経年化施設の長寿命化・更新
- 安全・安心でおいしい水の供給
- 環境負荷の低減
- 国内外に貢献する上下水道

【主要事業】

(1) 災害等の危機管理対策

大規模な災害などが発生した場合でも、安全で安定的な給水や下水処理を行えるよう、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化を推進します。また、近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害の危険性が高まっていることから、浸水に対する安全度の向上を図ります。

継続

■水道の震災対策推進事業

6,248,888千円

地震などの災害に対して、災害に強いライフラインを構築するため、水道管路や浄水場・配水池の耐震化を計画的に行い、送水管の2条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。

- ・浄水場・配水池の耐震化 261,342千円
 穴生浄水場や皿山配水池の耐震化工事など
- ・水道管路の耐震化 5,423,065千円
 配水管等の耐震化
- ・バックアップ機能の強化 532,457千円
 小森江系送水管
 山ノ神ポンプ場非常用発電設備更新など
- ・応急給水能力の向上 32,024千円
 応急給水施設整備工事

継続	■下水道の震災対策推進事業	2,258,000千円
	地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、ポンプ場の耐震化を計画的に実施するとともに、避難地・防災拠点等に接続する重要な管渠の耐震化にも取り組みます。	
	・下水道管渠の耐震化	1,918,000千円
	馬借二丁目地内他管渠更生、萩原一丁目地内他管渠更生 など	
	・ポンプ場の耐震化	340,000千円
	則松ポンプ場耐震対策、藤田ポンプ場耐震対策 など	

継続	■豪雨対策推進事業	2,860,000千円
	近年の集中的な豪雨により浸水被害が頻発していることを踏まえ、雨に強いまちをつくるため、浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度向上を図ります。	
	・昭和町雨水貯留管	
	・天籟寺初音町主要幹線、神嶽ポンプ場1号雨水ポンプ新設 など	

継続	■寒波対策事業	7,147千円
	-2℃以下の寒波予報が出された場合に、高台地区にある空き家の元栓を閉めます。加えて、宅地内水道管の点検・診断業務を漏水調査に併せて行い、未然に漏水を防止します。	
	・空き家漏水防止対策	
	・宅地内水道管の点検・診断業務	

(2) 経年化施設の長寿命化・更新

高度経済成長期に整備した施設の多くが更新時期を迎えることから、可能な限り長寿命化を図ります。また、更新に際しては、将来需要を考慮しながら、施設規模と機能の最適化を図り、重要度・優先度を踏まえた効率的・計画的な更新を行います。

継続	■水道施設の改築更新事業【一部再掲】	7,170,143千円
	経年劣化が進んでいる導送配水管や電気・機械設備機器等の浄水施設の更新を計画的に行います。	
	・配水管等の更新《再掲》	5,423,065千円
	配水管更新、導送水管更新	
	・浄水施設等の更新	1,747,078千円
	穴生浄水場中央監視制御設備更新工事 など	

継続	■工業用水道施設の改築更新事業	584,287千円
	経年劣化が進んでいる工業用水道管や電気設備等の更新を行うとともに耐震化を推進し、安定給水の向上を図ります。	

継続 ■工業用水道のスマート検針導入事業 **37,400千円**
昭和44年以降アナログ式のままである工業用水道の検針について、使用水量の監視が行えるようにする等お客さまサービスの向上を図るとともに、業務を効率化するためスマート検針を導入します。

継続 ■下水道施設の改築更新事業 **3,758,000千円**
下水道の機能を将来にわたり、安定かつ継続的に確保するため、下水道施設を適切に維持管理し、施設の状況を的確に把握しながら、適宜施設の改築更新を進めます。
・新町浄化センター最初沈殿池防食
・日明浄化センター中央監視設備改良 など

(3) 安全・安心でおいしい水の供給

いつでも安全で良質な水道水をお届けできるよう、水源水質の保全や直結給水の普及促進などに取り組みます。

継続 ■アクアフレッシュ事業 **8,000千円**
子供たちの直接蛇口から水を飲む文化を育むため、市立小中学校等の直結式給水への切り替えを促進します。

継続 ■遠賀川の水質改善対策 **9,600千円**
遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。

(4) 環境負荷の低減

水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します。

継続 ■合流式下水道の改善推進 **1,824,000千円**
下水道法施行令で定められた期限（令和5年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。
・西本町地内、槻田地内、下到津地内
・皇后崎浄化センター水処理設備工事

継続 ■水道メーター再資源化事業 **4,386千円**
本城リサイクルプラザを活用し使用出来なくなった水道メーターを分解・選別した上で、再資源化を図ります。

(5) 国内外に貢献する上下水道

本市の持つ高い上下水道技術を積極的に国内外で活用するとともに、上下水道事業の広域化や海外水ビジネスを通じて、国内外の上下水道に関する課題解決や地域産業の振興に貢献します。

継続

■水道事業の発展的広域化

1,083,788千円

平成28年度から開始した宗像地区事務組合の水道業務包括受託について、引き続き水道施設の運転や維持管理、料金徴収などを実施します。

また、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の水道事業者等を対象に、広域連携の必要性について理解を深めることを目的とした水道広域セミナーを開催するとともに、圏域全体に相乗効果が期待できる発展的な広域化に向けて、検討などを進めます。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託
- ・水道広域セミナー など

継続

■海外事業の展開

153,125千円

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みます。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるための海外水ビジネスを推進していきます。

経営の状況

【令和2年度予算】

(単位：百万円)

	【水道事業】	【工業用水道事業】	【下水道事業】	合計
収益的収入	20,275	2,001	27,767	50,043
料金収入 (使用料)	15,645	1,723	15,244	32,612
収益的支出	19,672	1,771	27,400	48,843
収支差引	603	229	367	1,199
資本的収入	5,893	429	12,969	19,291
資本的支出	13,512	995	23,878	38,385
差引過不足	△ 7,619	△ 566	△ 10,909	△ 19,094
補填財源	7,363	687	11,032	19,082
単年度資金収支	△ 256	121	123	△ 12
(計画)	△ 464	61	120	△ 283
累積資金剰余 (基金含む)	6,813	1,915	2,870	11,598
(計画)	3,357	1,348	1,680	6,385
企業債残高	62,035	2,310	152,206	216,551
(計画)	62,614	2,411	155,007	220,032

【水道事業】

(単位：百万円)

項 目		令和元年度 予算 (A)	令和2年度 計画 (B)	令和2年度 予算 (C)	前年度比 (C) - (A)	計画比 (C) - (B)	
収 益 的 収 支	収 入 ①	20,120	19,757	20,275	155	518	
	料金収入（原水除く）	15,492	15,194	15,645	153	451	
	その他	4,628	4,563	4,630	2	67	
	うち宗像地区水道事業収益	1,093	981	1,085	△ 8	104	
	支 出 ②	19,774	19,512	19,672	△ 102	160	
	人件費（宗像分除く）	3,082	2,856	2,700	△ 382	△ 156	
	維持管理費	3,151	3,224	3,191	40	△ 33	
	減価償却費等	7,988	8,232	8,198	210	△ 34	
	企業債利息	974	1,058	936	△ 38	△ 122	
	その他	4,579	4,142	4,647	68	505	
うち宗像地区水道事業費	1,071	940	1,069	△ 2	129		
収 支 差 引 ③ (①-②)		346	245	603	257	358	
資 本 的 収 支	収 入 ④	5,796	4,816	5,893	97	1,077	
	企業債	4,890	3,510	4,983	93	1,473	
	補助金	96	100	110	14	10	
	その他	810	1,206	800	△ 10	△ 406	
	支 出 ⑤	13,959	12,772	13,512	△ 447	740	
	施設整備費	8,477	7,826	8,298	△ 179	472	
	企業債償還金	3,263	3,099	3,290	27	191	
	その他	2,219	1,847	1,924	△ 295	77	
	差 引 過 不 足 ⑥ (④-⑤)		△ 8,163	△ 7,956	△ 7,619	544	337
	補 填 財 源 ⑦		7,203	7,492	7,363	160	△ 129
資 金 収 支	単年度資金収支⑧ (⑥+⑦)	△ 960	△ 464	△ 256	704	208	
	累積資金剰余 ⑨	5,077	3,357	4,821	△ 256	1,464	
	基金残高 ⑩	1,991	0	1,992	1	1,992	
	累積資金剰余（基金含む）⑪ (⑨+⑩)	7,068	3,357	6,813	△ 255	3,456	
企 業 債 残 高		60,342	62,614	62,035	1,693	△ 579	

【工業用水道事業】

(単位：百万円)

項 目		令和元年度 予算 (A)	令和2年度 計画 (B)	令和2年度 予算 (C)	前年度比 (C) - (A)	計画比 (C) - (B)
収 益 的 収 支	収 入 ①	2,014	1,896	2,001	△ 13	105
	料金収入	1,734	1,600	1,723	△ 11	123
	その他	280	296	278	△ 2	△ 18
	支 出 ②	1,658	1,580	1,771	113	191
	人件費	206	222	240	34	18
	維持管理費	316	294	344	28	50
	減価償却費等	634	644	666	32	22
	企業債利息	39	49	37	△ 2	△ 12
	その他	463	371	484	21	113
	収支差引③(①-②)	356	316	229	△ 127	△ 87
資 本 的 収 支	収 入 ④	421	201	429	8	228
	企業債	256	85	256	0	171
	補助金	45	45	46	1	1
	その他	120	71	127	7	56
	支 出 ⑤	1,114	872	995	△ 119	123
	施設整備費	696	579	630	△ 66	51
	企業債償還金	188	182	183	△ 5	1
	その他	230	111	182	△ 48	71
差引過不足⑥(④-⑤)	△ 693	△ 672	△ 566	127	106	
補 填 財 源 ⑦		711	733	687	△ 24	△ 46
資 金 収 支	単年度資金収支⑧(⑥+⑦)	18	61	121	103	60
	累積資金剰余⑨	1,794	1,348	1,915	121	567
企 業 債 残 高		2,237	2,411	2,310	73	△ 101

【下水道事業】

(単位：百万円)

項 目		令和元年度 予算 (A)	令和2年度 計画 (B)	令和2年度 予算 (C)	前年度比 (C) - (A)	計画比 (C) - (B)	
収 益 的 収 支	収 入 ①	28,157	27,253	27,767	△ 390	514	
	下水道使用料	15,375	14,765	15,244	△ 131	479	
	一般会計繰入金	6,378	6,049	6,272	△ 106	223	
	その他	6,404	6,439	6,251	△ 153	△ 188	
	支 出 ②	27,732	28,051	27,400	△ 332	△ 651	
	人件費	1,177	1,096	1,102	△ 75	6	
	維持管理費	6,279	5,901	6,366	87	465	
	減価償却費等	16,319	17,027	16,333	14	△ 694	
	企業債利息	2,374	2,761	2,145	△ 229	△ 616	
	その他	1,583	1,265	1,454	△ 129	189	
収支差引③(①-②)		425	△ 798	367	△ 58	1,165	
資 本 的 収 支	収 入 ④	13,562	12,287	12,969	△ 593	682	
	企業債	6,567	5,833	6,497	△ 70	664	
	補助金	4,800	3,940	3,862	△ 938	△ 78	
	その他	2,195	2,515	2,610	415	95	
	支 出 ⑤	24,803	22,480	23,878	△ 925	1,398	
	施設整備費	12,104	11,000	10,903	△ 1,201	△ 97	
	企業債償還金	9,133	8,478	9,364	231	886	
	その他	3,566	3,001	3,611	45	610	
	差引過不足⑥(④-⑤)		△ 11,241	△ 10,193	△ 10,909	332	△ 716
	補 填 財 源 ⑦		11,200	10,313	11,032	△ 168	719
資 金 収 支	単年度資金収支⑧(⑥+⑦)	△ 41	120	123	164	3	
	累積資金剰余⑨	2,747	1,680	2,870	123	1,190	
企 業 債 残 高		155,073	155,007	152,206	△ 2,867	△ 2,801	

中期経営計画の進捗管理

【対象事業：中期経営計画における41事業83目標】

目標達成の見込み

評価	評価内容	目標数	構成比
a	大変良い状況にある (R元年度までに完了した13事業を含む)	79	95.2%
b	概ね良い状況にある	4	4.8%
c	概ね良い状況とまでは言えない	0	0.0%
d	不十分な状況にある	0	0.0%
合 計		83	100%

中期経営計画の進捗管理

事業		目標年度	成果目標	R2 見込	達成見込
災害等の危機管理対策					
水道の震災対策	浄水施設耐震化率	R2	59.2%	59.2%	a
	配水池耐震施設率	R2	54.1%	54.1%	a
	基幹管路の耐震化率	R2	47.6%	47.6%	a
	バックアップ機能の強化 (井手浦系ループ化)	R2	12.3万人	施工中	b
	応急給水能力の向上 (配水管整備)	R2	7箇所	7箇所	a
下水道の震災対策	第2期計画に基づく耐震化	H30 ~R2	実施	年5~6km耐震化	a
	ポンプ場の耐震化	R6	6箇所	施工中	a
豪雨対策	雨水整備率	R2	73.0%	73.0%	a
	合流地区の治水安全度の向上	R2	10地区	10地区	a
	小倉都心部の重点整備	R2	5地区	5地区	a
寒波対策	寒波対策の充実	毎年度	実施	宅地内水道管点検診断 空き家の漏水防止対策	a
経年化施設の長寿命化・更新					
水道施設の 改築更新	導送水管更新	R2	11.3km	10.0km	b
	配水管更新	R2	250km	250km	a
	浄水場設備更新	R2	実施	更新計画に基づき 更新	a
	中央監視制御設備更新	R2	完了	更新完了	a
工業用水道施設の改築更新	工業用水道管更新	R2	5.1km	6.0km	a
下水道施設の 改築更新	大口径管の更新	R2	8.7km	11.9km	a
	小口径管の更新	R2	91.9km	88.4km	b
	設備機器更新	R2	実施	予防保全の実施	a
安全・安心でおいしい水の供給					
アクアフレッシュ事業	直結式給水の実施（学校）	R2	5校以上	9校	a
環境負荷の低減					
合流式下水道の改善推進	合流改善達成率	R2	77.0%	77.0%	a
国内外に貢献する上下水道					
上下水道事業の発展的広域化	勉強会・セミナー 毎年各1回開催	毎年度	実施	勉強会、セミナーと もに年1回開催	a
海外事業の展開	研修員受入人数	毎年度	255人	255人/年	a
収支バランスを踏まえた経営基盤の強化					
経費の節減	経費節減（H27比）	R2	9億円以上	14億円	a
上下水道の資産・資源の 有効活用	収入増（H27比）	R2	約1億円	0.5億円	b

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

達成見込 a:大変良い状況にある b:概ね良い状況にある
c:概ね良い状況とまでは言えない d:不十分な状況にある

中期経営計画の目標		設定目標	最終目標年度	最終成果目標	令和2年度		達成見込
施策番号 重点施策	実施事業				成果目標	取組内容	
(課題1) 災害等の危機管理対策 ～安全で快適な暮らしを支えます～							
1 震災対策の 拡充・強化	01 浄水場・配水池の耐震化	浄水施設耐震化率	R2	59.2%	R2末:59.2%	穴生浄水場施設 施工1箇所	a
		配水池耐震施設率	R2	54.1%	R2末:54.1%	配水池耐震化 施工1箇所	a
		危険箇所整備	R2	3箇所	R2末:3箇所	危険箇所再評価 (3箇所整備済)	a
	02 水道管路の耐震化	基幹管路の耐震化率	R2	47.6%	R2末:47.6%	導送水管2.16km 配水管50km	a
		災害拠点病院(7箇所)への配水管の耐震化	R2	完了	R2末:7箇所	配水管0.74km	a
		初期給水拠点(17箇所)への配水管の耐震化	R2	10箇所	R2末:10箇所	配水管2.0km	a
	03 バックアップ機能の強化	安定給水向上人口(井手浦系ループ化)	R2	12.3万人	R2末:施工中	配水管0.19km	b
		安定給水向上人口(小森江系2条化)	H30	5.9万人	R2末:完了	送水管0.46km	a
	04 浄化センター・ポンプ場の耐震化	ポンプ場の耐震化	R6	6箇所	R2末: 6箇所施工中	耐震化施工6箇所	a
	05 下水道管渠の耐震化 (特に緊急性の高い管渠)	第1期計画107kmの耐震化	H29	完了	(H29完了)	-	完
第2期計画		H29	策定	(H29策定)	-	完	
第2期計画に基づく耐震化		H30 ～ R2	実施	耐震化の実施	大口径1.8km 小口径7.0km	a	
06 災害時における機能確保の推進 (マンホールトイレの整備等)	マンホールトイレ整備	R2	各区 1箇所 程度	R2末:7箇所 (各区1箇所)	整備1箇所	a	
	圧送管の2系統化	R2	完了	(H29完了)	-	完	
2 豪雨対策の 拡充・強化	01 浸水被害の最小化	雨水整備率	R2	73.0%	R2末:73.0%	施設整備	a
	02 合流地区の治水安全度の向上	過去に浸水が発生した地区の雨水整備	R2	10地区	R2末:10地区	整備2地区	a
	03 小倉都心部の重点整備	供用開始	R2	5地区	R2末:5地区	整備1地区	a
水防活動訓練		毎年度	1回	1回/年	水防活動訓練実施	a	
3 危機管理体制の 充実・強化	01 事故対応能力の向上	模擬事故訓練(局全体1回、水道2回、下水道2回)	毎年度	実施	5回/年	模擬事故訓練実施	a
		危機管理研修(水道3回、下水道1回)			4回/年	危機管理研修実施	
		寒波対策の充実	毎年度	実施	寒波対策の実施	宅地内水道管点検診断 空き家の漏水防止対策	a
	02 応急給水能力の向上	配水管整備	R2	7箇所	R2末:7箇所	整備2箇所	a
		仮設水槽	H29	40個	(H29:40個達成)	-	完
非常用飲料水袋(6Lit)	R2	5万枚	R2末:5万枚	9千枚購入	a		
03 ハードを活かすソフト施策の充実(IT技術の活用等)	効果検証、全市への適用を評価 浸水シミュレーション	R2	実施	実施	浸水シミュレーション	a	

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

達成見込 a:大変良い状況にある b:概ね良い状況にある
c:概ね良い状況とまでは言えない d:不十分な状況にある

中期経営計画の目標		設定目標	最終目標年度	最終成果目標	令和2年度		達成見込		
施策番号 重点施策	実施事業				成果目標	取組内容			
(課題2) 経年化施設の長寿命化・更新 ～将来にわたって使い続けられるように、上下水道の機能を維持します～									
1	01	上下水道施設の長寿命化	浄水場施設の長寿命化	R2	6箇所	R2末:6箇所	穴生浄水場施設施工1箇所	a	
			配水池の長寿命化	R2	5箇所	R2末:5箇所	補修・補強2箇所	a	
			下水道管の点検・調査	毎年度	平均90km	約90km/年	点検・調査実施	a	
			浄化センター・ポンプ場第2期計画	H28	策定	(H28策定)	-	完	
			浄化センター・ポンプ場第2期計画に基づく補修・補強	R2	実施	実施	補修・補強実施	a	
	02	水道・工業用水道施設の改築更新	導送水管更新	R2	11.3km	R2末:10.0km	導送水管2.16km	b	
			配水管更新	R2	250km	R2末:250km	配水管50km	a	
			工業用水道管更新	R2	5.1km	R2末:6km	工業用水管1.8km	a	
			浄水場設備更新	R2	実施	実施	更新計画に基づく工事施工	a	
			中央監視制御設備更新	R2	完了	R2末:完了	更新工事1箇所	a	
			配水管理システム更新	H30	完了	(H30完了)	-	完	
	03	下水道施設の改築更新	大口径管の更新	R2	8.7km	R2末:11.9km	大口径管1.8km	a	
			小口径管の更新	R2	91.9km	R2末:88.4km	小口径管18.1km	b	
			長寿命化計画に基づく設備機器更新	R2	実施	実施	予防保全の実施	a	
	2	01	漏水防止対策の推進	漏水率	R2	6%以下	6%以下	配水管更新50km 漏水調査4,000km	a
漏水発見件数				毎年度	1,000件	1,000件/年	a		
02		配水ブロックの改善	低区配水ブロックへの編入	R2	5地区	R2末:5地区	1地区実施	a	
			小森江系配水ブロックの再編	R2	9.0km削減	R2末:更新対象管路延長削減9km	ブロック再構築等による更新対象管路削減	a	
(課題3) 安全・安心でおいしい水の供給 ～いつでも安全で良質な水道水をお届けします～									
1	水源から蛇口までの水質向上	01	遠賀川の水源地水質改善	流域活動団体への支援	毎年度	40団体	40団体/年	助成事業による支援実施	a
				関係機関への提案	毎年度	2提案	2提案/年	関係機関に対する下水普及促進等の提案	a
		02	水源林の保全	毎年度	480人以上	480人/年	水源地域での植樹・育樹活動	a	
2	蛇口から新鮮な水を飲める水道	01	直結式給水の普及促進	3階以上の直結式給水率	R2	49%	R2末:49%	直結式給水のPR	a
				直結式給水の実施(学校)	R2	5校以上	R2末:9校	小中学校への助成1校実施	a
		02	小規模貯水槽水道の管理指導	管理指導	毎年度	1,000件以上	1,000件/年	管理指導の実施	a
				安全でおいしい水対策	毎年度	実施	平均残留塩素濃度からみたおいしい水達成率80%以上	水安全計画の運用	a

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

達成見込 a:大変良い状況にある b:概ね良い状況にある
c:概ね良い状況とまでは言えない d:不十分な状況にある

中期経営計画の目標		設定目標	最終目標年度	最終成果目標	令和2年度		達成見込	
施策番号 重点施策	実施事業				成果目標	取組内容		
(課題4) 環境負荷の低減 ～水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します～								
1 環境に やさしい 保全活動 の推進	01	水源林の保全 (再掲)	水源地での植樹・育樹活動 (市民参加人数)	毎年度	480人 以上	480人/年	水源地域での植樹・ 育樹活動	a (再掲)
		合流改善達成率	R2	77%	R2末:77.0%	分流化、簡易処理の 高度化、きょう雑物 対策の実施	a	
	02	合流式下水道の改善推進	桜町北湊雨水貯留管	H30	供用開始	(H30供用開始)	-	完
			東中島ポンプ場雨水滞水池	R1	供用開始	(H30供用開始)	-	完
			第4期合流式下水道 緊急改善計画	H30	策定	(H30策定)	-	完
	03	宅地内の分流化 の促進	宅地内排水設備の切替促進	毎年度	実施	実施	切替促進のPR	a
	04	水質監視強化 (放流負荷量 の削減等)	放流水質の基準違反	毎年度	0件	0件/年	下水処理過程の監視 安定処理の継続	a
			事業場立入指導件数	毎年度	200件 以上	200件/年	事業場排水の監視	a
			管理対象化学物質(47物質) の実態把握	毎年度	実施	実施	管理対象化学物質の 実態把握	a
	05	地区の特徴を 踏まえた水循環の再生 (街なかの水辺再生等)	雨水調整池の整備	R2	2箇所	(R元完了)	-	完
2 地球温暖化 対策・資源 の リサイクル 事業の推進	01	自然エネルギーの活用	水道の再生エネルギー利用率	毎年度	15% 以上	15%以上	既設の水力及び 太陽光発電の運用	a
	02	省エネルギーの推進	[水道] 電力使用量	毎年度	過去5年 平均以下	過去5年平均以下	効率が悪化した設備 の更新・適正化等 実施	a
			[下水道] エネルギー消費 (H18比)	R2	10% 削減	R2末: 12.1%削減	高効率機器の導入	a
	03	汚泥の有効利用	汚泥の有効利用率の維持	毎年度	100%	100%/年	汚泥の有効利用 実施	a
	04	直結式給水の普及促進 (再掲)	3階以上の直結式給水率	R2	49%	R2末:49%	直結式給水のPR	a (再掲)
直結式給水の実施(学校)			R2	5校 以上	R2末:9校	小中学校への助成 1校実施	a (再掲)	

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

達成見込 a:大変良い状況にある b:概ね良い状況にある
c:概ね良い状況とまでは言えない d:不十分な状況にある

中期経営計画の目標		設定目標	最終目標年度	最終成果目標	令和2年度		達成見込	
施策番号 重点施策	実施事業				成果目標	取組内容		
(課題5) 国内外に貢献する上下水道 ～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～								
1 本市が持つ 技術力・ 経験を 活かした 国際貢献	01	上下水道技術の国際協力	研修員受入人数	毎年度	255人	255人/年	海外技術者育成に係る研修員受入	a
			職員派遣人数	毎年度	20人	20人/年	国際技術協力に係る職員派遣	a
	02	海外水ビジネスの推進	海外水ビジネスの受注と地元企業の振興	毎年度	推進	推進	地元企業の水ビジネス展開の支援	a
			海外水ビジネスを通じた国際貢献	毎年度	推進	推進	ビジネスの視点を取り入れた国際貢献	
03	外郭団体等の更なる活用(再掲)	市内企業、(株)北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化	毎年度	推進	推進	外郭団体等との連携強化	a (再掲)	
2 多様な形態 による 広域連携	01	上下水道事業の発展的 広域化	包括業務委託の受託	毎年度	継続	受託継続	宗像地区事務組合の水道事業の包括受託	a
			技術研修などへの周辺自治体職員の受入	毎年度	実施	実施	技術研修等への周辺自治体職員の受入	a
			多様な形態による広域連携の検討・協議	毎年度	実施	実施	水道広域セミナー等開催	a
		汚水処理などの実現可能性の調査	R2	1都市程度	実施	周辺自治体の汚水処理事務の受託検討	a	
02	外郭団体等の更なる活用(再掲)	市内企業、(株)北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化	毎年度	推進	推進	外郭団体等との連携強化	a (再掲)	
3 地域に 親しまれる 上下水道	01	お客さまに開かれた 広報・広聴活動 の推進 (施設開放、モニター、 環境学習支援等)	お客さま満足度(お客さまアンケート調査)	R1	75%以上	(R元完了)	-	完
			お客さま満足度(上下水道モニターアンケート調査)	毎年度	80%以上	80%以上	上下水道モニターへの広報活動	a
			お客さまからの苦情件数の減少率(H26比)	毎年度	5%以上	5%以上	広報・広聴活動の推進	a
	02	産学官連携による 研究開発の推進	[水道] 効率的な漏水探知システムの開発	R2	実施	(R元完了)	-	完
			[下水道] 企業等との共同研究など	R2	5件以上	R2末:22件	企業等との共同研究 実証実験の支援	a
03	下水道100周年 記念事業	下水道展誘致など	H30	実施	(H30実施)	-	完	

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

達成見込 a:大変良い状況にある b:概ね良い状況にある
c:概ね良い状況とまでは言えない d:不十分な状況にある

中期経営計画の目標		設定目標	最終目標年度	最終成果目標	令和2年度		達成見込
施策番号 重点施策	実施事業				成果目標	取組内容	
(課題6) 収支バランスを踏まえた経営基盤の強化 ～事業を支える「人・モノ・カネ」の経営基盤の強化に努め、安価な料金を維持します～							
1 効率的な事業運営	01 施設規模の最適化	[水道] 最適化の施策を計画に反映	R2	実施	実施	将来水需要予測の検証 次期計画への反映	a
		[下水道] 国土交通省の同意取得	R2	実施	実施	計画下水道量予測 次期計画への反映	a
	02 上下水道施設の長寿命化(再掲)	浄水場施設の長寿命化	R2	6箇所	R2末:6箇所	穴生浄水場施設 施工1箇所	a (再掲)
		配水池の長寿命化	R2	5箇所	R2末:5箇所	補修・補強2箇所	a (再掲)
		下水道管の点検・調査	毎年度	平均90km	約90km/年	点検・調査実施	a (再掲)
		浄化センター・ポンプ場第2期計画	H28	策定	(H28策定)	-	完 (再掲)
		浄化センター・ポンプ場第2期計画に基づく補修・補強	R2	実施	実施	補修・補強実施	a (再掲)
03 経費の節減(支払利息の軽減等)	経費節減(H27比)	R2	9億円以上	R2末:14億円	経費削減に係る取組の実施	a	
04 外郭団体等の更なる活用	市内企業、(株)北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化	毎年度	推進	推進	外郭団体等との連携強化	a	
2 多様な収入の確保	01 上下水道の資産・資源の有効活用	収入増(H27比)	R2	約1億円	R2末:0.5億円	資産・資源の有効活用の実施	b
	02 上下水道事業の発展的広域化(再掲)	包括業務委託の受託	毎年度	継続	受託継続	宗像地区事務組合の水道事業の包括受託	a (再掲)
		技術研修などへの周辺自治体職員の受入	毎年度	実施	実施	技術研修等への周辺自治体職員の受入	a (再掲)
		多様な形態による広域連携の検討・協議	毎年度	実施	実施	水道広域セミナー等開催	a (再掲)
		汚水処理などの実現可能性の調査	R2	1都市程度	実施	周辺自治体の汚水処理事務の受託検討	a (再掲)
03 水道・工業用水道利用促進対策	新規・増量開拓件数	R2	5件以上	R2末:5件	PR活動の継続実施	a	
3 職員の育成と活用	01 上下水道技術の継承・人材の育成	表彰制度の活用	毎年度	5名以上	5名/年	研修等による人材育成	a
		職員資格取得度	R2	20件/人	R2末:2.0件/人	資格取得の支援	a

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業